

# 心友会だより

第 4 1 8 号

昭和44年6月1日創刊  
平成22年1月1日発行  
発行所及責任者  
川崎市多摩区東生田4-13-17  
電話番号 044-976-0708  
郵便番号 214-0031  
宗教法人出雲心友教会  
編集兼発行人 佐藤武彦  
毎月8日1回発行  
1部150円 (送料共)  
年間購読料1,800円

## 未来に向かって

細矢靖子



12月の年祭。会長先生を囲んで

明けまして

おめでとうございます

去年は、大変な苦しい年でした。

今年は、世界的な不況の中で新年を迎えるのです。

でも、決して愚痴っては  
いけません。

健康な身体で、新しい年を迎えられた事は、神様のお蔭です。

病気で苦しんでいる人も  
たくさんいます。

どんなにつらい事でも、  
神からの試練と受け止めれば、我慢出来ます。

たとえ悪い年でも、耐え  
忍べば、数年後には必ず良  
い年がやって来ます。

それまで、自分の体は、  
自分で管理して、健康に注  
意して長生きしましょう。

以前も申し上げたと思  
いますが、日本は本当に平和  
な国です。

世界を見れば、戦争をし  
ていて、命の保障すらない

国もあります。貧しい国も  
たくさんあります。

昨年の暮れにテレビを観  
ておりましたら、戦争が終  
つても、多くの地雷が今も  
埋まっています、たくさん

人々が犠牲になつている国  
もある事を知りました。

他のテレビでは、多くの  
子供達が、一日数十円とい  
う賃金で働かされ、教育も  
受けていない、いわゆる児  
童労働の問題を抱えている  
国も世界には多数ある事が  
報道されておりました。

日本は今、戦争を知らな  
い人々が増えすぎて、完全  
な平和ボケになつてると  
思います。

また、物質、特にお金に  
執着している人間が多過ぎ  
る様に思います。

確かに、お金は、あつた  
方が良いですし、無ければ  
困ります。

しかし、人間が考え出し  
た、流通の手段としてのお  
金に振り回される事になる  
とは、何とも皮肉な事だ  
と思います。

現代の人間は、自分さえ  
良ければ、他人はどうなつ  
ても良い、と考えている

人々が多いと思います。

そこに気づかなければ、  
未来に明るい光は、決して  
ありません。

私達は、信仰を持ってい  
ます。

魂の親である神を敬い、  
感謝し、懺悔(ざんげ)しつつ、一歩  
でもそばに近づく、慕い寄  
る生き方、そして日々の暮  
しの中に『神、我と共にあ  
り』という信念を持つ事が  
真の信仰の道だと思つので  
す。

「こうして生かされてお  
ります事を、心から感謝申  
し上げます。」毎朝のお詣  
りで、一番最初に唱えるべ  
き言葉だと思つますが、そ  
の一番大切な筈の『生かさ  
れている事の有難さ』を忘  
れがちなのは、当り前だと  
思つているからなのかもし  
れません。

権力のある人、名声の高  
い人、どんな人でも、その  
命だけは自分でどうする事  
も出来ません。

親子、兄弟といえどもい  
くら自分が、かわつてやり  
たいと思つても叶わない事  
です。

私が人の死を目の前にす

る度に思います事は、『生  
き方』の問題です。

生殺与奪の権利は、神の  
みがお持ちになるのであつ  
て、死は一生を通しての、  
『徳』と『罪』との総決算  
の時であらうと思つます。

「こうして生かされてお  
ります事を、心から感謝申  
し上げます。」と唱えた次  
の言葉は、「お役に立てる  
人間として、お使い下さ  
いませ。」という生きる為  
の言葉でありたいと思つ  
ます。

生かされている事に感謝  
した次には、神様はもちろ  
ん、家族をはじめ、縁ある  
人の為に奉仕の生活をさせ  
て頂ける様、心からお詣り  
をさせて頂きたいものだと  
思つのです。

与えられている私達の命  
を、明日、明後日に向かっ  
て躍動させるところに、永  
遠の命が残つてゆくと思  
います。

最後になりましたが、大  
神様のお力で、世界が平和  
になります様、皆様も心か  
らお祈り致しますよう。

今年もよろしく願ひし  
ます。



新年のあいさつ

神楽坂支部長 会田茂行



会長先生、心友会の皆様  
新年明けましておめでと  
うございます。昨年  
は心友教会におきましては、四月の御神像竣工工祭のお祝いも出来大変喜ばしい一年だった

たと思ひます。

私も平成二十一年の行事に出来る限り参加させていただきます。信仰のありがたさのおかげで心の持ち方を色々教えられ何とか無事に過ぎす事が出来たと深く感謝しております。

本年も多くの方々との縁を頂き、沢山の事を学ばせて頂きながら良き年になり

ますよう努力していきたいと思ひますのでどうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。

心友教会の今後の発展のためにも良い年でありませう心よりお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



感謝の生活

鹿児島支部長 下池廣實



新年明けましておめでと  
うございます。

一昨年来からの世界同時不況が引き起こした経済収縮で、景気は一向に改善せず政府は昨年十一月デフレ不況に入ったと宣言しまし

平穩無事に

新年を迎えられて

世田谷支部長 小林伊佐子



新年あけましておめでと  
うございます。

た。新たな就労の場が雇用創出されない現況にあつて正規の就労につけない非正規就労者だけが増え続け、今年の新卒者の就職状況に至つては平成に入つて二番目に低い状況にあるとされ先行きがまったく見えない状況にあります。

とご教示があり、この間じつと我慢しながら強く生きて欲しいと強調されました。私達は大国主大神をお慕いし毎日良い霊波をもらいヤルキと健康を頂いて健全な生活が出来ている事に大変感謝いたしております。本年もよろしくご指導方お願い申し上げます。



今年も平穩無事に新しい年を迎えることが出来ましたことを大変うれしく思います。

たゞいっていることが、当り前のように思つてしまいがちですが、ご守護神として大国主大神様をお祀りさせていたゞいて私達は、守られているということに本當に感謝いたしたいと思います。

謹 賀 新 年

大自然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅  
太陽で24時間床暖房 ハイブリッド ソーラーハウス

奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間（全館床暖房）エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。

出雲心友会 横浜支部会員  
My Hands 有限会社白幡工務店

〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10  
TEL045-401-0549 FAX045-401-2085  
E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp  
代表取締役 金子文雄

謹 賀 新 年

末広会コーナー

旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。本年も相変わらずご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。成人式祝いなど各種贈答品承ります。

- 多良間島産の黒糖 販売開始
- 宮城県産、キヌヒカリを御奉納米として承っております。
- 新製品続々登場
- 他にも多数商品ございます

謹 賀 新 年

発想をアクティブに。  
伝える情報を伝える情報に。  
マルチカルチュラル時代の  
コミュニケーションサービスを  
展開しています。

株式会社 フレシーズ  
〒108-0072 東京都港区白金 1-25-20  
Tel : 03-3444-7111 (代) Fax : 03-3442-5775  
E-mail : mails@preseez.co.jp  
Homepage : http://www.preseez.com

謹 賀 新 年

心友会コーナー

心友会だより布教キャンペーン  
心友会だよりを年間千八百円（部につき）でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。  
こちらから直接郵送も可能です。（郵送料をお知らせ下さい。）  
ご不明な点等、ございましたら  
〇四四（九七六）〇七〇八  
佐藤まで

謹 賀 新 年

正一位中子稻荷  
いなり茶屋

～法事会席3,500円より承っております～  
水曜日定休  
営業時間 午前11時～午後3時  
午後6時～午後10時

群馬県北群馬郡伊香保町509-3  
天田 信良・典子  
TEL.0279-72-4465

朝夕のお詣り、朝のお詣りは、今日一日無事にすごさせていたゞけますように、夜のお詣りは、無事にすごさせていたゞいたこと感謝のお詣り、感謝の心を忘れずに神様から「氣力」をいたゞき一日〳〵を大切にすごしたいと思ひます。

心友会は、心を一にする

**「神に仕えるとは」**  
 金沢支部長 小林眞利代

新年明けましておめでとうございませう。皆様今年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

さて、私は東京在住の折白龍神様と縁があり、そのおかげで出雲心友教会の細矢靖子先生とお会いすることが出来ました。現在は、石川県金沢市で神に仕える身としてご奉仕させて頂いております。

先生との出会いから現在までの数十年の間で、神々、御霊様達から得させて頂いたことをいくつもお伝えしたいと思ひます。

教会です。

神様のお導きで、心友会の皆様方と縁が結ばれ人の輪が広がり大変うれしく思っております。

昨年、十一月二六・七日神迎祭におまいりさせて頂いたゞきました。毎年おまいり出来るということ、これもおかげ様かなと感謝いたします。

たしてあります。

今年もご守護いたゞき、平穩無事にすごさせていたゞきたいと思ひます。

会長先生、職員の皆様方心友会の皆様方どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。



① 地球上で人間だけが他の生物と違い、「祈る」ことが出来ます。

「祈る」とは、神の存在を確信し、神の御心を自らの心とすることです。

② 人間は、人を憎んだり、妬んだりしますと「悪い氣」を發します。そして、それは空中に沢山漂っている同じ様な「悪い氣」を更に自分に引き寄せてしまいます。

「恨み、妬み、憎しみ」などは、自らが發した以上のものが自身に返り、靈格を下げます。

自らの魂の靈格を上げるには、自分自身を喜べる心を持つことです。それは神から戴いた命、そして神の御守の下、生か

されている自分に感謝する心を持つことです。

自分自身を喜べる心は、この世での自身の使命を感じさせ、目標や夢を与えます。暗闇の中に一筋の「光」が差す如く、逆境を乗り越える「力」が持てます。神様が人を成長させるために、お与えになられたものです。

③ 「信心」は恐れから逃れるためのものもありますが、感謝の氣持より湧き起る思ひです。

神の存在を実感した時、見守って頂いているという喜びで一杯になります。「信心」することは、守つて下さることへの感謝をお返ししたいという思ひへとつながります。目

**謹賀新年**

ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。

**翁庵**

新宿区神楽坂1-10  
TEL 03(3260)2715

**謹賀新年**

日立チェーンストール  
ソニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

**榊原電機株式会社**

中野区沼袋1-2-12  
TEL 03-3387-6351(代)

**謹賀新年**

**KANEDA**  
Co-advance

油のことなら何でもご相談下さい。  
食用油脂・食品・調味料  
石油製品・化学製品

**カナダ株式会社**

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号  
〒111 TEL.03-3861-1311(代)

営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡  
http://www.abura-ya.com/  
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

**謹賀新年**

**人間ドック**

疾病の早期発見・早期治療から予防そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史  
東京都文京区西片1-15-10  
TEL.03-3816-5840

**謹賀新年**

ボリューム満点 **“おいしいラーメンの店”**

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

**らーめんはうす**

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

**謹賀新年**

鳥と卵のご用命は当店へ

**宮川食鳥鶏卵株式会社**

東京都中央区築地1-4-7  
電話 03(3541)0164・0177・0370  
FAX 03(3541)0164



に見えない実体を感じることは難しいかもしれませんが必ず存在します。

⑤ 信者になられるということは、神に仕えることです。

そういう方は、特に、

① 『霊』の存在を信じ

ること！」

② 「人の魂は不滅だと信じること！」

③ 「地上における善行と悪行には死後必ず報いと償いがあると信じて！」

④ 「すべての人間の魂は、

永遠なる進歩の道が開かれていと信じて！」

何があろうとも受け入れ、努力を惜しまないことです。

次の未知なる世界へ登る為に……。

### お願い

この心友会だよりは、皆様方の会報として発行させていただきます

て頂いておりますが、移転などによって戻ってきてしまっているものもありますので、移転などによって住所が変更

わる方、住居表示が変わった方は、お早めに社務所までご連絡下さいませ、お願いいたします。

### 節分祭 (追儺式)

太陰暦では、一年は立春から大寒までの、二十四節氣に分けられておりました。

そして、それぞれの節の前日を節分というので、もともとは年に二十四回もあったわけですね。

その中でも、冬と春の分かれ目である立春は、お正月と接近している所から、特別重要な節氣と考えられていました。

現在の節分は立春の前夜または、当日に行なう悪疫退散、招福の行事です。節分とは、言うまでもなく立春の前日であると同時に

に大寒の末日で、冬の節が終わって春の節に移る時期です。神社の行事としては、室町時代中期より盛んになった様です。また、鎌倉時代の末までは、宮中の追儺行事（おにやらい・なやらい、とも言う。節分に行う悪疫邪氣祓行事）は、十二月三十一日、つまり大晦日に行われていたと言ったことですね。日本の追儺は、悪気邪霊を祓う中国の唐代の行事を輸入したもの（讒言によって汨羅の淵に身を投げて死んだ中国・楚の憂国の志士、屈原が大魚となり、災いを

もたらしたので、節分の日になまきを投げて怒りをしずめたという中国の故事に由来したもので、豆を打って鬼を追うことは、室町時代ぐらいいから行なわれていた様です。日本では、疫病や陰気、災害などを鬼に見立てて、桃の弓、葦の矢で追い払うものでした。これが豆に変わった理由として、こんな逸話が残っています。昔、鞍馬の山奥に邪悪な鬼が住んでいました。あるとき毘沙門天が現れて、三石三斗の豆で鬼の目を打てと教えてくれたそう

### 初午

二月最初の午の日は、お稲荷さんの縁日です。

初午は『福参り』とも言われ、縁日や祭日は神仏と縁を結ぶのに最適の日ともされています。

お稲荷さんの御加護を乞うなら、この日の参拝は大切で、長寿・息災・栄進・子孫繁栄などが叶えられると言われております。

稲荷は『稻生』とも書かれ、祭神は田の神である『宇迦之御魂神』です。ちなみに鳥居の赤は、豊作を表しています。

なぜ豊耕とは縁の薄い江戸の地でも篤く信仰されたかと申しますと、それは、田沼意次が將軍の側用人から老中に出世したのは、邸内に祀られていたお稲荷さんの御加護という評判が

立ったからです。

以降、靈験にあやかろうと町々の小さな祠や屋敷内にまでお稲荷さんが祀られたと言われています。

初午は古くからの風習で和銅四年（七一一年）の午の日に、京都伏見の稲荷山に祭神が天降ったのが起源とされています。

紀貫之の歌にも『今昔物語集』にも、盛んな稲荷詣りが登場します。

稲荷といえば狐を連想しますが、これはお稲荷さんの祭神が仏教の荼枳尼天と習合したからで、玄狐に乗る姿から、狐を神の使者とする俗信が誕生しました。

全国には、お稲荷さんがたくさんありますが、特に三大稲荷と言われる伏見と笠間（神社系）、豊川（寺院系）は有名です。いずれにしても、お稲荷

さんは華やかなことが好きで、御利益も多大とされるので、返礼の意味を込めてとりわけ初午の日には賑々しくお祭りするのです。

太鼓を叩き、『正一位稲荷大明神』の赤い幟を何本も立てるのは、そのためです。夜は、稲荷灯籠・地口行灯をかけ連ね、お供え物に赤飯や油揚げなどをおあげします。

一般に、初午が二月五日前に来る年は豊作、六日以前に降る年は不作、また、初午が早い年は火事が多いと言われています。（平成二十二年は二月一日）

縁日に凧が立つことがありますが、凧は『風を切る』につながるもので、火伏せのおまじないで、家に飾っておくと火災から免れると伝えられています。

### 社務所からのお願い

皆様方から毎年頂いております年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費（月間五百円）

年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料

年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料

口座番号は、左記の通り

〇〇二九〇一七―三八一二

\*お手数ですが、通信欄に

年会費・管理料の区別を

名記して下さい。

です。  
鬼の目を打つので魔目、豆は魔滅にも通じるからとも言われています。

一般の御家庭での豆まきは節分の夜、(八時から十時頃と言われるが、早い分には構わない。)行なうのが普通です。

はじめは玄関、そして各部屋・台所・風呂場へ……。

戸や窓は全て開けて、まづは外に向かつて「鬼は外、鬼は外」、そして内に向かつて「福は内、福は内」と言いながら豆をまいてゆきま

す。  
それが終わったら、鬼を締め出し、福を逃がさない様、すぐに戸を閉めます。

この後、年の数だけ豆を食べるのですが、厄年に当たる人は、一つ多く食べて早く厄が終わる様に願うとも伝えられています。

豆を食べるのは「まめに  
なる」と、ひっかけた事により

ます。  
また、節分には、柊ひいらぎの小枝にイワシの頭を刺したものを戸口に飾る風習もある様です。

これは、柊の刺とイワシ

の悪臭が鬼を退散させると思われ、信じられていた為です。  
節分というと、やはり豆まきが思い浮かびます。

この事により近頃、有名な神社やお寺で行なわれている節分は、有名な方々による豆まきのセレモニーだけが、重要視されがちですが、(神社やお寺の宣伝になる為) 本来の節分は、大神様から平等に頂いた十二年に一度の干支の年をチャ

ン  
スの年にする為、年男年女の方が厄祓いに神社やお寺を訪れて、豆をまくのです。

出雲心友教会でも毎年男男女女の方をはじめ多くの方々が節分祭に参列され、今年一年の無病息災を祈念してあります。

また、直会では、荘厳な御祭風景とは一転して、終始なごやかなムードに包まれます。

尚、年男年女(寅年)の方で、当日おみえになれない方は、節分以降なるべく早く御伺いに仕えさせて頂いております厄除祈願のお祓いをお受け下さい。

尚、その際は必ず本人がご予約の上、おまいり下さ

い。(どうしても本人がおみえになれない場合は、毎月一回、代理の方が厄年の方の清祓をお受け下さい。)

平成 22 年 本命の厄除祈願 (干支) 寅

12 歳	H 1 0 年 2/3 - H 1 1 年 2/2	60 歳	S 2 5 年 2/3 - S 2 6 年 2/2
24 歳	S 6 1 年 2/3 - S 6 2 年 2/2	72 歳	S 1 3 年 2/3 - S 1 4 年 2/2
36 歳	S 4 9 年 2/3 - S 5 0 年 2/2	84 歳	T 1 5 年 2/3 - S 0 2 年 2/2
48 歳	S 3 7 年 2/3 - S 3 8 年 2/2	96 歳	T 0 3 年 2/3 - T 0 4 年 2/2



日本人の信仰

『宗教』とは「神または何らかの超越的絶対者、或いは卑俗なものから分離され、禁忌された神聖なものに関する信仰・行事またはそれらの連関的体系」とあります。

世界から見れば、日本はまだ『宗教後進国』と言わざるを得ないのが現状です。それと言うのも日本には『無神論者』が多いばかりか、「宗教をやっている人は、おかしい人が多い」とか「狂っている」とか言う人も多数いるからです。

ましてや宗教団体に属している人でさえ、確固たる信念を持っていかどうか疑問であり、ただ「何となく」とか「困ったから」とかの理由の人が多いためです。

以前に聞いた話ですが、日本人にインタビュー形式で「あなたの宗教は何ですか。」と質問したところ、ほとんどの人がはつきり答えられなかったそうです。

古来から日本は、宗教戦争もなく、様々な宗教を受け入れてきました。良く言えば宗教に対して『寛大である』

と言えなくもありませんが、むしろ『節操がない』と言った方が適切だと思われれます。海外を見れば、それは一目瞭然で、大きな戦争の大部分が宗教戦争と言っている程、生活と宗教が密着しているのです。

現在日本には、そんな日本人の『寛大さ』につけて『新興宗教』と呼ばれる宗教団体が増え、『既成宗教』と混同されてしまっている様です。

宗教法人を隠蓑かくれものにして私腹を肥やすばかりでなく、最近では自分たちの国家を造ろうとする狂気の教団も現われ、宗教法人そのものがいぶかしく思われる事態を招いています。本当に迷惑な話だと思えますが、こうした逆境になつても、信念を持って正しい信仰をしていけば、大神様に裁かれず平穩無事に生活できると我々は信じています。

信仰の自由が認められている日本です。何を信じようとするかは、個人の勝手です。それをどうこう批判することはできません。しかし、自分の信仰する

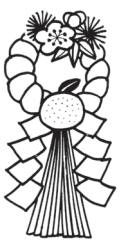
宗教、あるいは宗教団体がその枠を越えて人々に強制し、社会に迷惑をかけたなら、それはもはや宗教とは言えないと思います。

人々を救い、社会を活性化するのが本来の宗教だと思ふからです。

現代の社会は『善』より『悪』の方が多く様々思われます。そんな社会、現実から逃避したいと思う人は、かなりいるでしょう。でもその逃避する場所が『宗教』と言うのは間違いだと思えます。宗教は決して異次元空間に存在するのではなく、我々が生きていく一般社会に存在するので

すから……。  
逃避した先が宗教だと言うのと、求めて辿り着いた先が宗教だと言うのでは信仰の度合いが当然違ってくる。

話が色々たびましたが、皆様もこの機会に本当の宗教、信仰について考え、決して惑わされない信念を持つて頂きたいと思ひます。





月～三月の行事予定

一月

三日(日) 閉扉祭 午後五時

四日(月) みたま祭

五日(火) みたま祭

十日(日) 新年祭 正午

十一日(月) 成人式

二月

三日(水) 節分祭 正午 御伺なし

四日(木) みたま祭

五日(金) みたま祭

十四日(日) 年祭 正午

十四日(日) 総代会 四時

三月

四日(木) みたま祭

五日(金) みたま祭

七日(日) 年祭 正午

七日(日) 総代会 四時

二十二日(日) 春季 祖霊大祭 一時

※一月一日(金) から三日(日)までは、南箱根分教会でも同様に祭事を仕えさせて頂きますので、是非おまいり下さい。

ただし、三日(日)の閉扉祭は、午前十一時です。

尚、本殿の御伺日は一月八日(金)からです。(二月三日の御伺いはございません。)

年祭(感謝祭) 正午

一月二十四日(日)・二月十四日(日) その月に祀られた方々が、それまでの一年間、大神様に御加護して頂いた事に対して感謝申し上げる御祭です。

純粋に感謝の気持ちをお祈りに御奉告申し上げる機会でもあります。ハガキでご案内させていただきますので、必ず出欠の御電話を下さいませ。

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方も同様に直会(昼食)の都合がございませうので、人数をご連絡下さいませ。直会までが御祭です。



みたま祭(祖霊社)

二月四日(金)・五日(土)・三月四日(金)・五日(土) 毎月二日間にわたり御奉仕させて頂いております。二日間共予約制となりますので、お申し込の際必ず、御供養ご希望のみたま様の生前のお名前、亡くなられた年月日、享年、続柄をお

知らせ下さい。尚、原則と致しまして、各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせていただきますので御了承下さいませ。(月命日の方を優先させていただきます。)

申込み順です。お早めにご連絡下さい。また、神徒の方は、みたましろをお忘れなくお持ち下さいませ。



心友会ホームページのお知らせ

メールをお持ちの方は、アドレスの登録を行いたと思いますので、下記の心友会のメールアドレスに件名「登録」にて住所・氏名・電話番号を送信お願い申し上げます。心友会の URL は [www.shinyukai.or.jp](http://www.shinyukai.or.jp) izesumo@shinyukai.or.jp です。また、ホームページ等へのご意見感想もお送り下さい。

原稿募集中

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想など、どんな小さな事でも結構です。また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。皆様からのお便りを心よりお待ちしております。

御伺日の予約について

☆3の日 (3日・13日・23日) 9:30～11:30 (午前の部) 13:00～15:30 (午後の部)  
☆8の日 (8日・18日・28日) 9:30～11:30 (午前の部のみ) 午後1時より月並祭 (時間厳守)

※ご予約は、当日の午前10時までにお電話下さい。お電話がありませんと、お待ち頂く場合がございます。044-976-0708

御遷座祭について

引越しをされたら、すみやかに心友会へ新しい住所をお知らせして頂くのはもちろんですが、荷物整理をされて、ある程度家の中がおちつ

いたら、大神様の引越しの報告祭である『御遷座祭』をしなければなりません。その際、用意する物は、御初穂、御神体(大国様)、御神饌(鯛二匹、野菜七種類、赤飯)です。(御神饌は、末広

会でも用意出来ます。御希望の方はお申し込み下さい。あらかじめ日程をおとり致しますので、社務所までお電話下さいませ。

みたま祭だより

十二月

細矢家 重田家 鈴木家  
山崎(安永)家 岡本家  
阿部家 染野家 若林家

川村家  
以上の家々の御供養を、御奉仕申し上げます。

☆二〇一〇年 (平成二十二年)  
オリジナルカレンダー  
心友会年間行事入り  
九〇〇円

編集後記

☆明けましておめでとうございませう。☆旧年中は色々お世話になりました。本年もよろしくお祈り致します。

☆昨年は、不況のどん底の一年でした。☆今年は、より良い年となります様、大神様にお祈り致します。☆きつと明るい未来が待っているはずですよ。

絶賛 発売中!!